

行政視察等報告書

令和元年10月18日

境港市議会
議長 柗 康弘 様

会派名 無所属
代表者 松本 熙



下記のとおり行政視察（調査・研究）を行ったので、その結果を報告します。

記

1 視察等期間	令和元年8月17日（土）～19日（月）
2 視察等先 及び内容	第16回全国地方議員交流研修会 会場 熊本市総合体育館・青年館、及び水俣現地視察 1日目：8月17日（14時開会） 記念講演「沖縄から考える多様性の力・ 民主主義の未来」 玉城デニー沖縄県知事 問題提起「金融危機と民主主義の危機」 坂本 正・熊本大学元学長 「農業とJAと地域環境」 「いのちをつなぐ政治を求めて」 嘉田由紀子・参議院議員 2日目：8月18日（9：30～12：30） 第4分科会「防災と復旧・復興。 災害対策、自治体の課題」 全体会（14：00～16：00） 3日目：8月19日（8：00～16：50） 水俣現地視察（藤本寿子・水俣市議） 水俣病慰霊碑、水俣病歴史考証館、 語り部の会会長・緒方正美さんのお話 エコタウン・田中商店見学（水俣市内）
3 視察等議員	松本 熙
4 総経費	合計（1名）82,400円
5 所見等	別紙のとおり

記念講演「沖縄から考える多様性の力・民主主義の未来」

玉城デニー・沖縄県知事

知事からは、日米地位協定について、沖縄県が実施した欧米各国との比較調査を示して問題点を指摘。「ドイツやイタリアなどは、日本と違い国内法の規定で米軍機の飛行などを規制している。日本では米軍の事故が起きても規制線が張られれば、誰も入れない」などと、日米地位協定の見直しを訴えました。又、米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に関し、これまで工事を中止して対話による解決を目指しましょうと政府に呼び掛けたが、明確な回答がないと説明がありました。

深さ 90 メートルに及ぶ軟弱地盤の改良工事に対し、これまでに実績がないと疑問視し、「基地問題は沖縄だけでの問題でない。皆さんも、しっかり考えて欲しい」と強い言葉で呼びかけられました。

問題提起：「いのちをつなぐ政治を求めて～知事 8 年の経験から参議院議員へ」

嘉田由紀子・参議院議員からは、戦後日本政治の 3 段階として、

- 1、ハイポリティクス：共産主義 対 自由主義で、イデオロギー対立する政治（例：冷戦時代）
- 2、インタレストポリティクス：高度経済成長期の中心적인見方。利権で固まる縦の組織を重視。生産が重視され、自然破壊、環境汚染をもたらす恐れあり。利権政治、利益誘導政治。
- 3、ライブリー・ポリティクス（生と生活の政治）インタリスト・ポリティクスの反省に立ち、命と広義の福祉を重要視する政治。物質的豊かさの追求ではなく精神的な豊かさを求め、エコロジスト、地方分権運動、原発反対運動、基地反対運動などを含む概念。3 点を基本に、嘉田県政誕生の意味をしっかりと説明された。

国政の場では、3つの“もったいない”を社会問題化とし、「税金の無駄使いもったいない」「自然のめぐみ壊したらもったいない」「子どもや若者の自ら育つ力そこなったらもったいない」と考えを語った。

分科会：「防災と復旧・復興。災害対策、自治体の課題」

分科会報告の中で、「活力ある地方創生を目指した地域新電力の挑戦」が参考事例として参考になった。福岡県みやま市で電力会社を設立し、出資構成はみやまパワーHDが40%、みやま市が55%、地元銀行が5%の資本金 2,000 万円で開業。年間 40 億～50 億円の売電収入を得て、地元雇用も生まれた事例を聞くことが出来ました。

オプションフィールドワーク：最終日の現地視察は2コースが設定。

始めて水俣病の現地を訪れる機会が実現した。有機水銀中毒による神経疾患。四肢の感覚障害・運動失調・言語障害・視野狭窄・震えなどを起こし、重症では死亡に至る難病である。

1956年5月に公式に認定された。水俣地方で工場廃液による有機水銀に汚染した魚介類を食べた住民が集団的に発生。

水産業を生業にする境港市民として、他人事ではなく安全・安心な漁港が汚染されることなど無いことを祈りながら、語り部の緒方さんの話に耳を傾けました。

【終わりに】

沖縄県知事の訴える基地問題や嘉田前滋賀県知事の問題提起に頷きながら本人自身の声を聞きました。又、熊本県水俣市を訪れてみて、今もなお水俣病の被害は、別な形で残っていることなどを知ることができました。

鳥取県は日本で最も「小さな県」です。逆の発想に立てば自然豊かな山陰にあり、他所にない希少価値が埋もれていると改めて考えることができました。

「星取県」を活かし、発想豊かに流動人口や定住人口に本気で取り組むことの可能性に、改めて気付かされた行政視察になりました。